



■第44回教育課程編成講座
8月7日(課題別分科会)
8月8日(教科系分科会)



「えだまめあそび」
福崎町立田原小学校 三年
森田 美結

■栄養教員部 ■
8月2日 第29回兵教組栄養教員部
夏季学習会

全体会では、兵退教協副
会長・元兵教組執行委員長
の山名幸一さんより、「と
もに考えよう、わたしたち
の運動・組合」がテーマの

講演がある。
午後からは、「食物アレ
ルギー対応」「中学校にお
ける給食・食育」「特別支
援学校(支援の必要な児童
・生徒への対応を含む)に
おける課題」「共同調理場
における課題」がテーマの
グループ討議がおこなわれ
る。

※前号に引き続き、8月に予定されている兵教組の夏の学習会を紹介する。
※「子どもの詩と絵 第37集」より、入選作品を掲載。

戸市教育会館、ひょうご女性交流館において、「わか
る授業・たのしい学校」の実現をめざし、教育課程の
編成と創造的な教育研究活動を組織的にすすめるため
に、第44回教育課程編成講座がおこなわれる。7日(前期)
は、人権教育部会協力研究所員の五百住満さん(関西学院大
学)による「人権を基盤にす
た教育実践のあゆみをさら
に強固にすすめるために」
と題した講演がおこなわれ
る。8日(後期)は、施設で
生活する子どもたち支援研
究所員が運営する講座が
開かれる。



■第40回平和教育実践交流集会
8月3日

兵教組・兵庫教育文化研
究所は、過去39年にわたり
「平和教育実践交流集会」
を開催し、平和教育の推進
について学習や交流をすす
めてきた。今回は、「語り
継ぐ歴史! 未来へつなぐ!
明石の平和教育!」をテーマ
に、明石商工会議所でおこ
なわれる。

あかし教育研究所運営委
員の山本信季さんによる
「明石空襲の語り継ぎ」と
「明石空襲の碑」周辺を
小学校や中学校における平
和学習のとりくみの実践報
りくみ」と題した講話や、
会議研究員から「平和教育
実践にどのようにとりくむ
か」の問題提起があり、グ
ループ討議や意見交流をお
こなす。

午後からは、平和教育部
会研究員から「平和教育
実践にどのようにとりくむ
か」の問題提起があり、グ
ループ討議や意見交流をお
こなす。

また、閉会後のフィール
ドワークでは、明石公園内
の「明石空襲の碑」周辺を
見学し、学習を深める。

告がある。
■第23回近プロカリキュラム編成講座
8月9日~10日

ピアザ淡海・滋賀県立県
民交流センターにて、日教
組近畿ブロックに集う仲間
とともに、「カリキュラム
編成講座」が開催される。

全体会では、滋賀朝鮮初
級学校長の鄭想根(チヨンサンゲン)さんによる記
念講演がある。また、朝鮮
初級学校の教職員と子ども
たちによる、朝鮮民族音
楽・舞踊のアトラクション
が予定されている。

分科会では、A・B・Cの立場
の子ども・人権に視点
をおいた学級・学校づくり
、B・Cインクルーシブ教育
をめざした学級・学校・地
域づくり、C子ども主体の
学級・学校・地域づくりの
3つにわたりて討議がおこ
なわれる。兵教組からは
B・C分科会においてリ
ポート報告をおこなう。

ループ討議で職場・地域組
合間の実態にもとづく交
流がおこなわれる。

8月24日

■臨採部夏季学習会

全体会では、日教組臨
時・非常勤教職員等全国協
議会議長の川添まゆ美さん
から、臨採部職場実態アン
ケート集計結果をもとに、「
これまでのとりくみにつ
いて」が提起された後、グ
ループ討議で職場・地域組
合間の実態にもとづく交
流がおこなわれる。

兵教組各専門部・研究所 夏の学習会はじまる(2)

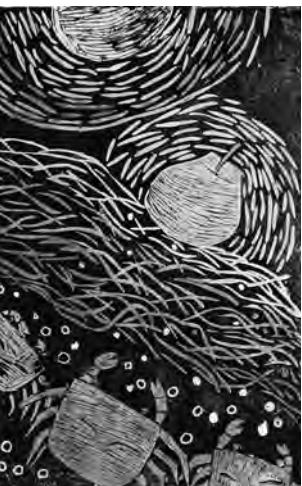


発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 川原嶋芳保 和子
編集人 電話 050(3538)2346
1部15円 年定額360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2017/7・15

No. 1933

2面
専門部・臨時採用教職員部・事務職員



「やまなしを追って」
新温泉町立温泉小学校 六年
大田 叶実

■養護教員部 ■
8月10日 第57回兵教組養護教員部
サマーセミナー

全体会Ⅰでは、本郷眼
科・神経内科院長であり、
NPO愛知視覚障害者援護
促進協議会理事長の高柳泰
世さんによる「色覚特性と
学校現場における支援のあり
方」と題した記念講演があ
る。午後からの全体会Ⅱでは、
分科会では、①「子ども
の悩みや問題点にふれて」、
②「子どもの健健康権の確立
について」、③「養護教員
部運動の強化発展のため
に」をテーマにリポート
をもとに協議される。

告がある。

■近プロ幼稚教育部学習会
8月27日

大阪、たかつガーデンに
て開催される。

第1部では、常磐会短期
大学のト田真一郎さんから
「幼稚教育における保育の
質とは」、幼稚園教育要領改
訂から考える―(仮題)―
がテーマの講演があり、第
2部では3つにわかれて分
散会がおこなわれる。

全体会では、日教組臨
時・非常勤教職員等全国協
議会議長の川添まゆ美さん
から、臨採部職場実態アン
ケート集計結果をもとに、「
これまでのとりくみにつ
いて」が提起された後、グ
ループ討議で職場・地域組
合間の実態にもとづく交
流がおこなわれる。

8月24日

■臨採部夏季学習会

全体会では、日教組臨
時・非常勤教職員等全国協
議会議長の川添まゆ美さん
から、臨採部職場実態アン
ケート集計結果をもとに、「
これまでのとりくみにつ
いて」が提起された後、グ
ループ討議で職場・地域組
合間の実態にもとづく交
流がおこなわれる。

年金共済で、公的年金にプラスし ゆとりあるセカンドライフをめざしませんか?

現職中に積立

月々
積立

月額5,000円以上1,000円

単位で積み立てられます。

※ご加入後に増額・減額もできます。

まとまとお金を積み立てたいときは…

ボーナス積立

10万円以上1万円単位

任 意 積 立

で積み立てられます。

※ボーナス積立、任意積立は取崩し(一部解約)ができます

ご退職時に受取年金を決定

- 年金原資(積立金)が受け取りたい年金に足りない場合は、一時払掛金で原資を積み増しすることができます。
- 年金原資(積立金)が受け取りたい年金より多い場合は、超過分を一時金でお支払いします。

無理のない金額で
毎月コツコツ

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび
重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)
をご覧いただき制度内容をご確認ください。

あんしん むすぶ
教職員共済

資料請求・お問い合わせは▶

教職員共済生活協同組合

兵庫県事業所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730

FAX (078) 221-1199

承 09-16-03 (0911)



まずは青年部活動を知り、地域や職種を越えてつ



三上雅康
部長(本部)

とりくみの意味づけを大切にし、組合活動の見え方の「語り継ぎ」運動をすすめ。先輩会の開催、あわせて新組合サマーセミナー・地区別交流会・労働学校等を設定し、組織拡大・強化を!! 青年部教育実践講座の実施と内容の充実をはかり、教育実践の力量を高めよう!!

とりくみの意味づけを大切にし、組合活動の見え方の「語り継ぎ」運動をすすめ。先輩会の開催、あわせて新組合サマーセミナー・地区別交流会・労働学校等を設定し、組織拡大・強化を!! 青年部教育実践講座の実施と内容の充実をはかり、教育実践の力量を高めよう!!

とりくみの重点課題

2017年度 専門部三役より5
仲間のみなさんへ

青年部

西馬由華
副部長(芦屋)

ながりあい、ともに青年部活動を盛り上げていきましょう!! 青年部活動を創り上げるのはみなさんにす!! ともにがんばりましょう!!!

田上容子
副部長(朝来)

今年度より青年部副部長をさせていただることになりました。「つながり」を大切にし、活動していきたいと思います。精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。



は明わ幸名わすたせづたしが生れたから
るく力強く
たまます
羽を広げて

わたしの名前の由来
わたしの名前はひな
七月三十一年
コウノトリのひな
すだつた日にひな
はお父さん
コウノトリのよう

豊岡市立三江小学校
高品妃奈
三年



2017年度 専門部三役より6
仲間のみなさんへ

事務職員部

藤井優策
副部長(多西)

たくさんの人にお会つて、視野を広げていきたいと思います。そして、青年部の人に伝えられることを増やしていきたいです。

白石明
部長(姫路)

制度改正やシステム変更をさせていただることになりました。「つながり」を大切にし、活動していきたいと思います。精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。



今岡正喜
副部長(美方)

へ改正されます。学校教育法第37条第14項と就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第14条第15項。2法とともに他の地教行等の改正も含めた一括法案で構成されています。正式名称は「義務教育諸学校等の体制の充実及び運営の改善を図るために公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律案」。義務教育体制の変革の時です。本部と地区、地域組合の運動と連携をはかりながらとりくんでいきます。

とりくみの重点課題

臨時採用教職員部

「従事する」の時代から、先輩方は「つかさどる」にむけて運動をすすめてこらめました。その歴史に学び、標準職務の定着をふくめ、さらなる職務確立をはかります。ついで運動をはかります。よろしくお

先輩方の悲願であった、「従事する」から「つかさどる」に

制度が変わりゆく中、学

校事務職員の職務を改めて

認識し、これからの歩みを

皆様とともにつくれるよう

がんばります。よろしくお

願いいたします。



ひとりでは、成し遂げられない課題をみんなの声をひとつにして変革をもたらすことができればと考えます。待遇改善にむけ、交渉を続けていきたいと思いま

7月2日投開票でおこなわれた兵庫県知事選において、兵教組が推せんした「井戸敏三」さんが944,544票を獲得し、5期目の当選を果たした。投票率は40・86%。

今回の選挙選では、現職の井戸さんに対し、新人3人が立候補。知名度を武器に、多選批判を繰り広げる候補者もあり、序盤均衡した闘いと報じられていました。

また、兵教組第143回定期大会において「兵庫の教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今後、兵庫の教育の確立に向けて、しっかりと腰を据えて推進を図っていきたい」と語った。5期目の井戸県政においてもこれまで同様協議と合意を尽くす、労使の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

みんなの「ご支援」ありがとうございました

井戸さんは、阪神・淡路大震災からの復興や財政再建など、4期16年の実績を強調。また、地域に活力をと、地域創生戦略「ふるさと」を具体化するのが5期目の課題と訴えていた。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今

後、兵庫の教育の確立に向

け、しっかりと腰を据えて推

進を図っていきたい」と語

った。5期目の井戸県政

においてもこれまで同様

協議と合意を尽くす、労使

の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今

後、兵庫の教育の確立に向

け、しっかりと腰を据えて推

進を図っていきたい」と語

った。5期目の井戸県政

においてもこれまで同様

協議と合意を尽くす、労使

の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今

後、兵庫の教育の確立に向

け、しっかりと腰を据えて推

進を図っていきたい」と語

った。5期目の井戸県政

においてもこれまで同様

協議と合意を尽くす、労使

の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今

後、兵庫の教育の確立に向

け、しっかりと腰を据えて推

進を図っていきたい」と語

った。5期目の井戸県政

においてもこれまで同様

協議と合意を尽くす、労使

の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今

後、兵庫の教育の確立に向

け、しっかりと腰を据えて推

進を図っていきたい」と語

った。5期目の井戸県政

においてもこれまで同様

協議と合意を尽くす、労使

の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今

後、兵庫の教育の確立に向

け、しっかりと腰を据えて推

進を図っていきたい」と語

った。5期目の井戸県政

においてもこれまで同様

協議と合意を尽くす、労使

の信頼関係のもとで県政がおこなわれていくことをもとめていく。

井戸さんは、阪神・淡路

大震災からの復興や財政再

建など、4期16年の実績を

強調。また、地域に活力を

と、地域創生戦略「ふるさ

とひょうご」を具体化する

のが5期目の課題と訴えていた。

また、兵庫第143回定期大会において「兵庫の

教育は、地域と家庭と行政と教職員で支えていく。今